

施策番号	0204		
施策名	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進		
概要	市民それぞれが各人の置かれた状況に応じて、家庭や地域生活などにおいても、多様で柔軟な働き方・生き方が選択でき、仕事の充実と地域参加や社会貢献などの仕事以外の生活が好循環する社会の実現を目指す。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	産業観光局・産業企画室
上位政策	2 人権・男女共同参画		
施策に関係する 主な分野別計画等	第4次京都市男女共同参画計画（きょうと男女共同参画推進プラン） 「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業 認証制度の認証企業数(社)	a	a	225	264	252	104.8%	a	1.00
2	「京のまち企業訪問」掲載企業に占める働き方改 革取組企業の割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思 わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	女性も男性も、仕事と生活（家庭や地 域活動など）をバランスよく充実でき る社会になってきている。	d	c	11	97	210	84	54	456
				2.4%	21.3%	46.1%	18.4%	11.8%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		d	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					29 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) ワーク・ライフ・バランスの内容は個人のライフスタイル、価値観によって異なるため、市民がどのように感じているのかがわかる市民生活実感調査の結果を重視する。						28 年度	C
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・30年3月に京都市が実施した「真のワーク・ライフ・バランス」に関するアンケートの結果によれば、「仕事の忙しさ」「経済的余裕のなさ」が仕事と生活(家庭や地域活動など)を両立させる上での課題となっている。 ・内閣府「平成30年版男女共同参画白書」によれば、①週間就労時間60時間以上の雇用者の割合は、特に、子育て期と重なる30歳代、40歳代の男性が高い、②6歳未満の子を持つ夫の家事・育児関連に関わる時間は、1日当たり83分と他の先進国と比較しても低水準であるとされている。 ・近年、女性活躍推進や働き方改革等に向けた社会的な気運が醸成されつつある一方、長時間勤務を前提とした男性中心型労働慣行や「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった固定的な性別役割分担意識が今なお根強いことが原因であると考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	きょうと男女共同参画推進プランの推進	16,494	17,348	良い	文化市民局
2	女性の活躍推進	8,327	10,091	良い	文化市民局
3	「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業	39,035	38,134	良い	文化市民局
4	京都市男女共同参画センター ウィングス京都	190,198	194,834	—	文化市民局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・長時間労働の是正や生産性の向上、仕事と育児・介護の両立支援などに取り組む中小企業の実践例を広く発信し、働き方改革を「見える化」することにより、実践の輪を広げる。
 ・引き続き、仕事や家庭生活、地域活動などにおいて生きがいと充実感を得て心豊かな人生を送れる「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方の浸透に向けて、市民に向けた啓発や事業者団体の支援を実施する。

施策名	0204	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進			
指標名	「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の認証企業数（社）				
担当課	男女共同参画推進課		連絡先	222-3091	
1 指標の説明					
「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の宣言企業のうち、認証企業として認定されている京都市内の企業数					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
企業における仕事と子育て両立支援の状況を示す指標			算出方法：「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の宣言企業のうち、認証企業として認定されている京都市内の企業の数 出典：事業担当課調べ		
4 数値					
	前回数値 28年度	最新数値 29年度	推移	目標値	
				数値	根拠
数値	225	264	39社増	252	32年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値（29年度252社、30年度287社、31年度317社、32年度350社）
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	
数値		350	32年度	75.4%	市内に事業所のある宣言企業を平成32年度までに3,200社とし、そのうち約10.9%（平成26年度の京都市内宣言企業における京都市内認証企業の割合）を認証企業とすることを目標とする。
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
目標値の達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満			目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下を20%ごとに基準設定した。		28
					29
					30
					a
					a
					a

指標名	「京のまち企業訪問」掲載企業に占める働き方改革取組企業の割合（%）				
担当課	産業企画室		連絡先	222-3325	
1 指標の説明					
「京のまち企業訪問」ウェブサイト掲載企業のうち、働き方改革に取り組んでいる企業の割合（%）					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
企業における働き方改革の取組状況を示す指標			算出方法：「京のまち企業訪問」ウェブサイト掲載企業のうち、働き方改革の取組状況を掲載している京都府内（※）の企業の数 （※）同サイトには、京都市域外の企業も掲載されていることを踏まえ、府市協調で取り組むこととしているため。 出典：事業担当課調べ		
4 数値					
	前回数値 年度	最新数値 平成30年度当初	推移	目標値	
				数値	根拠
数値	-	-	-	-	32年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値（30年度20%、31年度60%、32年度100%）
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	
数値		100%	32年度	100%	「京のまち企業訪問」ウェブサイト掲載企業のすべてを働き方改革に取り組む企業とすることを目標とする。
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
目標値の達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満			目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下を20%ごとに基準設定した。		28
					29
					30
					-
					-
					-